

令和元年 福祉文教委員会 第 1 回議会報告会

令和元年 1 1 月 8 日

委員長 【 黒澤 佳壽子 】

議 会 報 告 会 実 施 計 画 備 考	委員会 テーマ	児童福祉について		
	テーマ 設定目的	前期視察を実施した内容、こども条例、児童相談所の現状、子供食堂運営者の話などを踏まえ、児童福祉についての課題を考える。		
	対象団体	民生児童委員 児童福祉部会・主任児童委員		
	調整事項	実施日	令和元年 1 0 月 2 1 日 (月)	
		時間	午前 1 0 時 3 0 分 ~ 午前 1 2 時 0 0 分	
	出席 予定者	会場	市役所東館 会議室	
		出席 予定者	福祉文教委員・民生児童委員児童福祉部会・主任児童委員	
	事前準備	役割 分担	司会進行	小林委員 挨拶 黒澤委員長
			基調報告	土屋委員・長田委員 グループワーク 全員
		案内通知	土屋委員 グループ分け作業 平松委員	
資料	長田委員			
その他	アンケートの実施			
備考	全体での基調報告の後、ワークショップ方式による意見交換を行う			

議 会 報 告 会 実 施 報 告 備 考	実施日時 出席者	実施日	令和元年 1 0 月 2 1 日 (月)	
		時間	午前 1 0 時 3 0 分 ~ 午前 1 2 時 0 0 分	
		会場	東館 3 階会議室	
		当日 出席者	福祉文教委員 6 名 事務局 2 名 民生委員児童委員 3 0 名 当局職員 3 名	
	実施内容 概要	開会あいさつ 委員自己紹介 基調報告 御殿場市の「社会総掛かりの子ども条例行動計画」について 仙台市の「学習サポート・子ども食堂と当市の現状」について グループワーク 4 グループに分かれて実施後結果発表 民生委員児童委員協議会佐藤会長のお言葉 委員長挨拶後閉会		
		報告書	報告書作成	委員全員提出委員長まとめ
	議会だより		黒澤委員長	
	備考			

議会報告会実施報告書

開催日時	令和元年10月21日(月)	
開催場所	東館3階委員会室等	
テーマ	児童福祉について	
出席議員	司会者	小林恵美子 委員
	記録者	グループワーク 委員全員 アンケート 本多丞次 委員
	報告者	土屋光行 委員 長田文明 委員
	その他	挨拶等 黒澤佳壽子 委員長 グループ分け等 平松忠司 委員
参加人数	民生委員児童委員30名 当局職員3名 事務局2名 議員6名	
実施内容	開会あいさつ 委員自己紹介 基調報告 御殿場市の「社会総掛かりの子ども条例行動計画」について 仙台市の「学習サポート・子ども食堂と当市の現状」について グループワーク 4グループに分かれて実施後結果発表 民生委員児童委員協議会佐藤会長のお言葉 委員長挨拶後閉会	
主な意見 ・提言等	別紙報告書及びアンケート集計表のとおり。	

以上のとおり、報告します。

令和元年11月26日

御殿場市議会議長 様

福祉文教委員会

委員長 黒澤

佳壽子





1. 民生委員児童委員活動で感じていること、困っていること

児童委員の活動分野において

- 基本的に民生委員は子どもの情報を持っていない。
個人情報保護の観点から、地域内の名簿も容易に作れないし、使えない。
就学援助申請の出た家庭には関わるが、生活状況の細部までの確認は難しい。
まして、一般家庭内での子どもの状況などほとんどわからない。
せめて保育園、幼稚園、学校との情報共有をできるようにできないだろうか。
- 「保護者の意向」があるため、委員としてどこまで踏み込んでよいのか、あるいは、どこまで関わるべきなのかという、権能、権限の範囲が分からない。
- 民生委員児童委員として諸問題に取り組むときに、専門家ではないので、どういうふうに向きあうのがよいのかとまどう。
包括支援センターだけを窓口とせず、直接、専門職に相談することはできないか？
(たとえばDV事案など)
- 外国から来た子どもさんの場合、子どもは日本語を話すが、保護者は日本語をあまり理解できないことがある。訪問して話をしても伝わっているのかどうか不安がある。

2. 市議会や市に望むこと

- 子ども条例や行動計画の市民の認知度をあげて欲しい。また、子育て推進協議会の早期設立を望む。
- 子育て家庭にしても高齢者の家庭にしても、本当に困っている人の声が聞こえない。市や地域の区長さんなど地域からの窓口を広げた方が良いと思う。また、市で把握している家庭に声をかけてもらえないか。
- 子ども食堂は、ボランティア頼りになっているが、永く続けていくためには行政による支援が必要である。
- 妊婦検診の無料化を提案する。みんなが受診しやすくすれば、相互に情報把握がしやすくなるのではないか。

3. その他

- 子どもの居場所作りをしていくことは大切である。
特に夏休み等の長期の休みに親が仕事をしている時間の居場所が必要。
(川島田区の夏休み子ども教室が紹介された。)
一緒に学習する場があると良い。
- 子ども食堂の活動は、素晴らしいと思う。
いろいろな課題もあるが、永く続けられるように考えていく必要がある。
行政の助成や支援も必要。
放課後児童クラブや高齢者の居場所づくりなどとの協力もできるのではないか。
(町屋区のカレーハウスが紹介された。)
市民への広報も重要。
- 子ども条例については、もっと広く市民に伝えてほしい。
- 子ども家庭センターの利用者の姿を知ってほしい。
苦しむお母さんのかけこみ寺となっている。
一方、子育てパパの安心できる場所でもある。(仲間がいる。声かけがある。)

4. テーマ以外 (他にもたくさんのご意見をいただきました)

議会報告会の運営について

- 議会報告会で市議会議員の人との意見交換ができる時間があるのは良いと思います。
もう少し時間があれば確認しやすいのではないのでしょうか？
- 議会だよりでわかりやすく活動を報告してほしい。

5. 質問事項 (答えを返すもの)

- 幼保無償化になったことにより、現場にはどのような影響が出ているか。
幼稚園から保育園への利用者の移動などによる園間のばらつきや定員割れなどは出していないか。

【保育幼稚園課より】

10月からスタートした幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、各施設においては対象となる児童の確認や今まで保育料の中に含まれていた副食費を実費徴収するなど、新たな事務負担が発生しています。

また、新たに給付の対象となる幼稚園や認可外施設を利用する者については、認定を受けるための手続きが必要となります。

次に、園児数の状況については、ここ数年は幼稚園が減少している一方で、保育園は増加傾向にあります。来年度の応募状況については、幼稚園は全体としては今年度よりも減少していますが、園によっては増えているところもあります。

保育園は現在募集期間中のためまだ確定していませんが、現時点までの状況を見ると、若干増えています。

- 児童手当などを支給しているにもかかわらず給食費の回収ができないことがあるようだが、そうなってしまう理由がわからない。

【学校給食課より】

児童手当等から学校給食費を徴収する場合は、児童手当等受給資格者からの申出に基づいて実施しております。

児童手当等受給資格者から『児童手当に係る学校給食費の徴収等に関する申出書』を提出していただく必要があり、何度も学校側から説明していただいておりますが、未納者全員から申出書の提出をいただけていないのが現状です。

従いまして、現状といたしましては、未納者全員からの児童手当からの徴収を実施できておりません。

まとめ

行政視察や議会報告会、また子ども食堂運営団体との懇談会などによる情報収集、意見交換を経て、この12月定例会では3人の議員が一般質問につなげるなど、大変有意義な活動となった。

まだまだ課題は多く、今回話を伺った民生委員児童委員の皆様をはじめ、他の部会の皆様とも連携協力していかなければならないと感じる。

今後もさらなる活動や働きかけが必要と考える。



全体報告の様子

グループワークの一室



10月21日 議会報告会アンケート 回答数 27人

①	担当地区	高根 2人	玉穂 4人	印野 1人	原里 6人	御殿場 9人	富士岡 5人
②	性別	男 9人	女 18人				
③	委員歴	3年 12人	6年 9人	7年 1人	9年 2人	12年 2人	無回答 1人
④	テーマについては?	良かった 8人	おおむね良かった 13人	どちらでもない 5人	いまいちだった 0人	悪かった 0人	無回答 1人
	基調報告について	良かった 8人	おおむね良かった 14人	どちらでもない 4人	いまいちだった 1人	悪かった 0人	無回答 0人
	グループワークについて	良かった 7人	おおむね良かった 16人	どちらでもない 1人	いまいちだった 0人	悪かった 0人	無回答 3人
	運営について	良かった 7人	おおむね良かった 14人	どちらでもない 5人	いまいちだった 1人	悪かった 0人	無回答 0人

ご意見

- ・今回のような機会を広くもつことが市民の意見を知ることだと思う。
- ・議会と民児協が協力し今後の青少年の健全育成（福祉）に頑張りましょう
- ・時間が少ない。グループワークの結果がもっと知りたかった。ととてとやはらべこを知らずにはずかしかった。調べて参加したかった。
- ・地域の実態を知ることにもっとお互いに協力をしなければと思う。地域や民間でやっていることを知ってそうゆうところへ援助していただければ。
- ・自分の準備不足があった。
- ・議員を身近に感じた。報告と具体的なことに触れ良い機会だった。現状と次への継続と課題は多いが実行していくことが大事である。
- ・もう少し深い意見交換の時間だったらよいと思う。
- ・討論部分は事前に知りたい。
- ・議員と身近に話ができる場があると良い。
- ・将来を担う子供たちに少しでも健やかな成長を助けていただければ。
- ・民生委員だけでなく支援の後方のアピール拡大してほしい。
- ・子ども食堂について具体的に話を聞きたい。運営についても仕方を知りたい。
- ・子供の情報を民生委員はあまり持っていない。子供に関するサポートをボランティアだけでなく市や市議会がもっと関わるべき
- ・ことう機会を続けてほしい。学童、子どもセンターに視察ではなく遊びに行ってもらいたい。
- ・市議と直接意見交換ができて良かった。
- ・資料はしっかり用意されたほうが良い

御殿場市議会
福祉文教委員会
議会報告会

3. 基調報告

1) 「社会総がかりの子ども条例行動計画について」

土屋 光行 委員

2) 「仙台市の学習サポート・子ども食堂と当市の現状について」

長田 文明 委員

■仙台市『生活困窮世帯の中学生に対する学習サポート事業について』

<対象者>

生活保護、児童扶養手当全額受給世帯の中学生

参加費無料

<サポート内容>

- ・学習サポート 基本的な学力向上、受験サポート
- ・体験プログラム 職業体験、キャンプ（大人の力を借りる）
- ・相談サポート 進路の情報提供、個別相談、保護者からの相談

<実施にあたって>

大学の協力のもとボランティアの募集に取り組んでいる

学校・児童相談所・保健福祉センター・就労支援機関と連携し対応

個別対応やネット教材の活用で個々の学力に応じた対応

■ 『生活困窮世帯の中学生に対する学習サポート事業について』

< 考察 >

生活困窮世帯では塾に通う機会や勉強する意欲等が削がれるケースがある
学習習慣を持つことが必要とされているが、通塾することが経済的に厳しい家庭が多い

学習面の指導のみならず、保護者への相談支援、体験プログラム等の利用により広く社会との関りを持つことができるよう計画されている

< 視察感想 >

大学生ボランティアは中学生のロールモデルになり得る（年齢が近い）

市・官民総出で中学生を支援
卒業後 ⇒ ボランティア

素晴らしい
循環社会

■仙台市『子ども食堂運営団体助成事業について』

<対象者>

市内において子ども食堂の運営を行っている、または行う予定の団体

<対象要件>

子どもへの食事の提供に加え、学習支援、交流、遊び体験等の子どもの
居場所づくり活動をおこなうこと

2か月に1回以上の頻度で開催し、1年以上の継続的な活動を見込むこと

<助成額>

事業費の4／5以内（上限30万円）

備品購入費、会場借上料、食材費、消耗品等

■御殿場市『当市の現状について てとてとひろば』

<概要>

2018.11.19オープン 森之腰中央公民館拠点
毎月第三月曜日 15:00～20:00 無料

<対象>

貧困の家庭に限定しない

だれでも、親子参加可能 (当初30人程、6月90人)

地域みんなの居場所作りを目指す

てとてとひろば



5月のメニュー

- ぶた井
- トマトペンネ
- コールスローサラダ
- ポテトフライ
- てとてとにぎり
- お味噌汁
- 白玉ぜんざいパフェ
- パースデーケーキ
- パウンドケーキ
- お団子
- いちご
- クッキー

〔食材ご提供者様〕

- 農 池田様 ●エビ青果部 田代様 ●フードバンクふじのくに様
- 赤い羽根パースデー助成 オールしずおか ベストコミュニティ様
- 富岳会様 ●匿名でのご提供者様

〔居場所のご提供〕 森の腰区様



■御殿場市『当市の現状について はらぺこ食堂』

<概要>

2018.10.28オープン 二の岡コミセン⇒場所不定
毎月1回土日祝日 10:00～15:00頃 無料

<方針>

子どもだけに限らず、そこに住むヒト・企業・地域を
巻き込んだみんなの居場所作りを目指す
食事だけでなくワークショップ・職業人講座等を企画

ハロウィンリース作り
クリスマスリース作り
そば作り体験
木材でDIY体験
手作りパズル
柏もち作り
魚さばき職人体験
ピザ作り etc.

10月-11月 活動記録 2018年

はらぺこ食堂

10月

実施日：10月28日（日）
時間：10:00～15:00
場所：御殿場市二の岡区コミュニティーセンター
実施内容：ワークショップ「ハロウィンリース作り」
食事

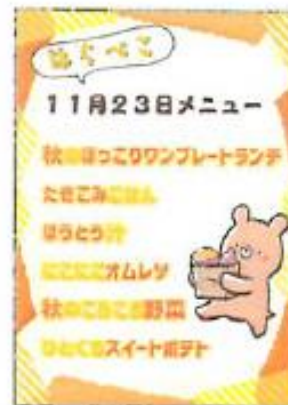
参加者：子ども29名 大人23名
ボランティア：8名
スタッフ：3名



11月

実施日：11月23日（金/祝）
時間：10:00～14:00
場所：御殿場市二の岡区コミュニティーセンター
実施内容：バザー、ラクガキコーナー
食事

参加者：子ども45名 大人55名
ボランティア：10名
スタッフ：3名



6月-7月 活動記録 2019年

はらぺこ食堂

6月

実施日：6月16日（日）
時間：10:00～14:00
場所：社会福祉法人 野菊寮
実施内容：ワークショップ「オリジナルピザ作り」
食事
参加者：子ども22名 大人10名
ボランティア：10名
スタッフ：3名



7月

実施日：7月20日（土）
時間：10:00～14:00
場所：社会福祉法人 武蔵野会さくら学園
実施内容：ワークショップ「オリジナルうちわ作り」
食事
参加者：子ども8名 大人3名
ボランティア：10名
スタッフ：3名

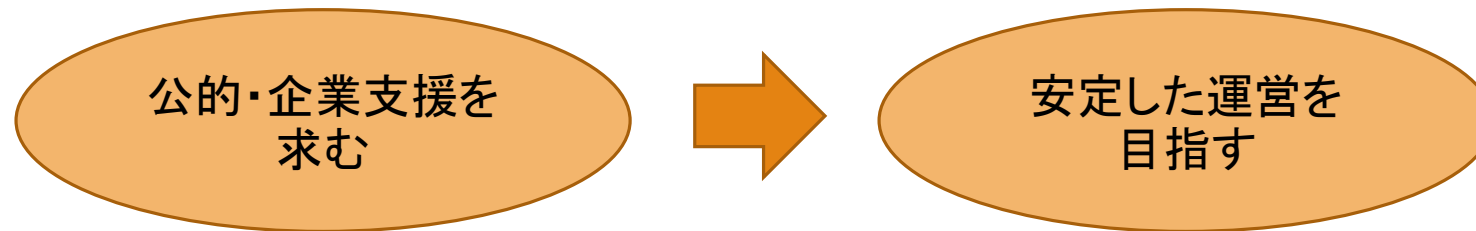
参加者減少



■ 『<問題点> はらぺこ食堂』

開催場所：現在は場所不定（場所により参加人数にバラツキ）

運営費：私財で場所を用意、当初開催費用はスタッフ持ちで始まる



■ 『<問題点> てとてとひろば』

本当に困っている家庭への橋渡しが必要
現状では支援の手が十分届いてはいない

活動の限界
支援の方法に苦慮

民生委員の皆様には
是非ご協力をお願いしたい

ご清聴
ありがとうございました

